市民との意見交換会・報告書

開催地区：日新地区	開催日時：令和6年11月14日（木） 18時30分 ～ 20時10分
担当班：第5班（出席議員） 榎屋奈津子、奥脇康夫、内海基、吉田恵三、小倉孝太郎（欠席議員） 成田芳雄	
開催場所：日新コミュニティセンター	
参加人数：男性 6名、女性 1名、合計 7名	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について 特になし。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について スマートシティ会津若松の取組が、高齢者を中心として浸透していないという意見が出された。 避難所における連絡手段の確保、地域コミュニティづくりに向けて学校の余裕教室の活用等といった提案や人口減少対策などの意見が出された。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 地域づくりについて</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 近年、地域行事及び町内会行事等を実施にあたり、その主催をする担い手不足に陥っている。そのため、今後どのように取り組んでいくのか、打開策を検討したいことや、今後の行事等の在り方について検討したいという理由により、本テーマの設定に至った。 防災についても、避難所としてコミュニティセンターが選定されたが、運営及び保管備品についての取組や考え方について検討したいとのことであった。</p> <p>③ 主な地域課題 町内会役員の担い手不足や高齢化が大きな課題であり、地区行事もかろうじて開催でき、人出もあるものの、将来に向けてはその継続が心配である。防災時における避難所の充実を図ることも課題として捉えている。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和6年11月21日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第5班 代表者 成田 芳雄

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>市はスマートシティを掲げているが、ICTを身近に感じない。 先日、町内にICT企業が店舗を開設した。市内の物件をかなり探したが、断られるケースが多く、30軒目くらいで決定したそうである。空き家活用等においては、こうした事業者に対しての支援も必要ではないか。</p>	<p>不動産関係事業者等と連携しながら、こうした事業者へ一定の支援をしているが、引き続き課題として認識していく。</p>	○	①		地域経済
<p>災害が発生し、避難所へ避難するなどの対応をした後に、すぐ家族や知人・友人の安否確認をされると思われる。避難所に公衆電話等の通信機器が設置されると、不便な中にありつつも、避難者にとっての利便性が高まり、助かると思う。</p>	<p>平成25年7月25日にNTT東日本と「大規模災害時等における特設公衆電話の事前設置に関する覚書」を締結している。 各小・中学校へ3回線ずつ、他備品も保管されている。</p>	○	①		災害対策
<p>前段で述べた地域の拠点及び集まれる場所づくりについて、学校の空き教室や体育館等を活用できないか。市内の中心部に集まるのではなく、各地域に拠点を作りコミュニティーを形成するべきである。</p>	<p>学校の空き教室はあまりないと聞き及んでいるが、空き教室があれば、地域へ開放をしたい学校もあるようである。 県立病院跡地や市役所栄町第二庁舎等を市民活動や子育てに利用できる施設が設置される。</p>	○	③	担当課に確認し、後日報告する。 (事後報告書P6に記載)	地域社会
<p>人口減少対策として、将来の人口目標を設定し、それに向けた取組を進めるべきではないか。 首都圏より官公庁を移転させ人口増を計る。郡山市程度の人口規模にしたい。</p>	<p>10万人程度の人口を維持する目標を掲げている。官公庁等の移転については、ご意見として伺う。</p>	○	①		行政
<p>会津に総合大学を立地するなど、そういう思いのある議員はいないのか。山形県米沢市は、会津若松市の半分程度の人口規模に関わらず、大学が2つある。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	○	①		行政

○ 地区別テーマでの意見交換について → 日新地区の地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>七日町で酒屋を営んでいる。以前は地域の様々な困りごと聞いたりしたが、現在は、大店法改正等の法律の影響もあり、郊外へ大型店が出店している。先日も七日町で泥棒が入ったらしいが、近所付き合いもなくなってしまい、防犯上においても心配である。</p> <p>子どもへの声掛け、見守り等をする地域のコミュニティーの核となる場所が必要ではないか。モデル地区を設定し、予算化してみてはどうか。</p> <p>町内会の業務が多忙なこと、また、人口減少により担い手がいなくなっている。資料作りの講座等を開催して頂けないか。</p>	<p>子どもたちの登校時などの見守り等は、行われている。こどもクラブや放課後に子どもを預かる際に、地域の方々が子どもたちに勉強を教えていることなどが現状である。</p> <p>資料作りへの支援として、高齢者へのパソコン教室等は地域ごとに行っていたり、スマートフォンの教室等を開催している地域もある。</p>	○	②	
<p>子どもの居場所づくりに取り組む施設が町内に引越してきた。町内会としては町費を免除している。市としても支援が必要ではないか。</p> <p>以前町内にあった施設は、町費を請求していたが、請求以上に支援をしてきた経過にある。</p> <p>また、現在は地区社会福祉協議会を設立し、様々な支援活動を行っている。</p>	<p>各地域にある地域学校協働本部において、朝の見守りや放課後等の居場所づくりをボランティアで行っている。市の支援については、ご意見として伺う。</p>	○	②	
<p>送迎のボランティアを行っている方々の中には、自身の経験を通して自身の生活よりも活動を優先してしまうため、自身の生活ができなくなることもあるようだ。</p> <p>I C T等の活用や、送迎であればMy R i d eどこでもバスを活用したり、双方がより良い生活を営めるような施策が必要ではないか。</p>	<p>ボランティアはできる範囲での活動となるため、総合的な施策の検討も必要であると考えます。</p>	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 日新地区の地域づくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
プライベートやプライバシーが重視され、コミュニティーが構築できない。日本の良さを再認識・再構築すべきではないか。町内会も担い手がいない。	町内会の役員等を担う人材不足については、他の地区からも意見が出されている。ご意見として伺う。	○	②	
この地域には、毎年7月1日に姥母尊（おんばさま）のお日市がある。これを皮切りに市内の各所でお日市が開催されており、昔ほどのにぎわいはないが、ある程度人出がありにぎわっている。 実行委員会により開催しているが、携わる人は、高齢者がほとんどであり、人数も減少してきている。昼間は子どもたちのイベント等を開催し、にぎわいを作り、夕方以降は家族連れ等ににぎわっているものの、採算はとれていない状況である。	こうした取組には敬意を表したい。コミュニティーの維持、担い手不足等については、大きな課題であると認識している。	○	②	
町内会内のコミュニティーについて、当町内会は半分が戸建て世帯、半分がマンション世帯であり、マンション世帯との付き合いは薄く、また戸建て世帯は高齢化が進んでいるため、ほぼコミュニケーションがとれていない状況もある。	地域でのコミュニティーの維持については、重要な課題と認識している。	○	②	
日新コミュニティセンターが避難所となっている。日新地区は、只見線沿線より西側の地域が大まかに浸水区域となっており、城西地区は、高層の市営団地があり、そこが仮避難場所となった。日新地区においては高層の公営住宅が少ないため、仮避難場所を確保するため、民間のマンション等へ働き掛け等はできないか。	市は垂直避難も一つの有効な手法としている。民間施設の活用は、駐車場等はあるものの、建物そのものを避難所としている例は、聞き及んでいない。課題認識と受け止めている。 高層の市営住宅等における仮避難場所設置及び民間のマンション等との連携については、後日報告する。	○	③	担当課へ伝え事後報告する (事後報告書P6に記載)

市民との意見交換会・事後処理報告書

日新 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 市内小中学校の空き教室の地域活用について（P 3）</p>	<p>【市民からの要望・質問】 地域の拠点及び集まれる場所づくりについて、学校の空き教室や体育館等を活用できないか。市内の中心部に集まるのではなく、各地域に拠点を作りコミュニティーを形成するべきである。</p> <p>【事後処理結果】 11月15日 教育総務課及び学校教育課へ確認。 各学校に授業等で使用していない教室はあるが、特別教室や一時待機所、備品や教材を置いておくスペースとして使用している。地域への開放となると難しいと考える。 なお、使用希望の場合は、学校へご相談いただきたい。</p>	
<p>2. 市営団地等高層住宅の仮避難場所及び地域内のマンション等の民間施設への仮避難について（P 5）</p>	<p>【市民からの要望・質問】 日新コミュニティセンターが避難所となっている。日新地区は、只見線沿線より西側の地域が大まかに浸水区域となっており、城西地区は、高層の市営団地があり、そこが仮避難場所となった。日新地区においては高層の公営住宅が少ないため、仮避難場所を確保するため、民間のマンション等へ働き掛け等はできないか。</p> <p>【事後処理結果】 11月15日 建築住宅課へ確認。 城西地区の区長より要望を頂いたため、高層団地の共用部に限り仮避難場所とした。他の地区においてもそのような要望を頂ければ検討する。 11月21日 危機管理課へ確認。 民間所有のマンション等を仮避難場所とするような協定等は締結していない。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和6年11月21日

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第5班 代表者 成田 芳雄